

既存下地	アスファルト防水A-2	改修仕様	NCA-601
採用理由	保護層が砂利敷きや保護コンクリートを撤去し施工をした事はあるが、H2m弱の上載土にて保護されていた既設アスファルト防水層の状況を確認できる稀な現場であったために採用した。ほぼ平面部のみの現場の為複雑な形状の現場より施工面積ごとの塗布量の指導がしやすく、職方に各所の膜厚を均一にする事の重要性を再認識させやすい現場であったために採用した。		

施工現場全景



施工前



施工後

物件	浄水場排水池外補強及び防水工事					
面積	平面部	546 m ²	立上り部	m ²	合計	546 m ²

ドレン周り、部分処置部分

施工前		施工前状況
	<p>施工前、既設アスファルト防水層がH2m弱の上載土にて保護されており、かなりの年数が経過していたため強固に締め固められていた。騎乗式床剥がし機にて撤去作業を行った。</p>	

施工中		<p>対処方法</p> <p>施工面積ごとに塗布量を計算し、均一な膜厚となるよう留意し施工した。</p>
		

施工後		完成の状態
	<p>施工面は膨れもなく均一に施工できた。</p>	